

# NEWS LETTER



Vol.4

毎年9月1日は防災の日。地震や台風、津波などの自然災害が多い日本で、災害から身を守るための「備え」はとても大切です。今回は、災害が起きたときに備えるため、外国人と日本人と一緒に取り組んださまざまな訓練や講座について紹介します！



## 防災スタンプラリー・非常食作り・災害時に役立つDIY

～郡山市国際交流協会、郡山市、日本赤十字社福島県支部、(公財)福島県国際交流協会～

「安心安全に暮らすための講座～防災編～」を郡山市国際交流協会主催で開催しました。会場の開成山公園には、災害発生後の炊き出しなどで活躍が期待されるかまどベンチやトイレ機能を確保するマンホールトイレが整備されています。防災士の資格も持っている講師の石橋英子先生は、外国人の方が理解しやすいイラストや写真を用いて説明していただきました。防災スタンプラリー(協力:シャチハタ株式会社)は、例えば「家庭やオフィスで大きな地震の後、火災を発生させないようにするためには？」の質問に5つの回答の中から自分ができそうな事を選び、そのスタンプを台紙に押します。31名の参加者はグループに分かれ6か所のチェックポイントを回りました。ボランティアの福島県立あさか開成高校と福島県立郡山高校の生徒は、外国人の方にやさしい日本語や英語を交えて質問し、スタンプを選んでもらっていました。スタンプは3色あり、どの色が多くかで自助・共助・公助の3つのタイプの中から自分の傾向を知ることができます。振り返りの時間に石橋先生からは「どのタイプが正解ということはなく、災害時は皆が協力することが大事。今の自分ができることを考えましょう」とお話がありました。また、かまどベンチを使っての非常食作りでは、あさか開成高校の生徒の指導の下、各自がアイラップに入れた粉に水を入れて準備。出来上がった蒸しパンの試食では「おいしい！」の声も聞こえてきました。災害時に役立つDIYでは、日本赤十字社福島県支部の野崎先生に新聞紙のスリッパや段ボールトイレ等、緊急時に活躍する知恵を教えてくださいました。当日は、熱中症対策として配布したポカリスエットイオンウォーター(協力:大塚製薬株式会社)を飲みながら、子どもから年配の方まで楽しく防災について学んでいました。(8月25日(日)、開成山公園)



皆さん、木炭に火をつけることはできますか？日本赤十字社福島県支部の野崎先生に協力いただきました。

## 非常食作り、防災スタンプラリー

～福島市国際交流協会、(公財)福島県国際交流協会～

「Yuiverse 防災デー」は多文化共生センター(Yuiverse)で開催しました。福島市内で働くインドネシアの実習生や日本人の親子等と一緒に調理をしました。料理ができあがる時間を使っての防災スタンプラリーは文章をやさしい日本語に置き換えたので、災害時に自分はどのような行動をとるのか、じっくり考えてスタンプを押していました。(8月31日(土)、多文化共生センター(ダイユーエイトMAX3階))



地震や洪水、森林火災等、自然災害は世界中で発生しています。国連による集計では自然災害は20年単位で1.7倍に増えているとか。地域での災害への備えを知ることは外国人の方にも大切なことです。防災講座に興味のある方は当協会までぜひご相談ください!

## 避難する時のピクトグラム、違いを知っていますか?



**避難場所 (にげるばしょ)**  
津波、地震、洪水などから、一時的に逃げることができる。グラウンドや公園が指定されることが多い。



**避難所 (にげるところ)**  
建物があり、一時的に避難生活を送ることができる。食べ物や水が用意されている。学校の体育館や公民館が指定されることが多い。



**津波避難場所**  
大地震で発生する津波から一時的に避難できる場所で長い時間の滞在はできない。高台や丘が指定されることが多い。



**津波避難ビル**  
津波からの避難で近くに高台や丘が無い場合や時間的余裕が無い方が利用する建物。一時的な避難なので滞在は不可能。

## 災害の時につかう日本語の言い換え (例)

〇〇川の水位が警戒水位を超えました

〇〇川で水がたくさん流れています。

水の量が多すぎます。危ないです。

炊き出し

避難所や公園などで食べものを

もらうことができます

## 編集後記

季節柄、屋外イベントに天気不安はつきもの。開成山公園での防災講座でも天候を心配する声からスタッフからも聞こえてきました。そんな中、「絶対大丈夫! 雨は降らない!」と言い切っていた担当F。結果、言葉どおりの晴天。まあ、その帰り道は土砂降りの雨でしたけどね。屋外イベントにとっても役立つ晴れパワーを持つ男、楽しいイベントがあればぜひお声がけくださいませ。

## 公益財団法人福島県国際交流協会

〒960-8103 福島市舟場町2-1 福島県庁舟場町分館2階

TEL 024-524-1315 E-Mail [lasanichi-f@worldvillage.org](mailto:lasanichi-f@worldvillage.org) (やさしい日本語担当)

